

# ひたちおおた絆プラン（第2次常陸太田市男女共同参画推進計画）

## 平成30年度実施状況

常陸太田市

○計画期間 平成23年度～令和2年度

○計画の体系

基本目標	施策の方向	基本的施策
1 互いに思いやり、 認め合う人づくり	1. 人権尊重の意識づくり	1. 家庭や地域、職場における男女共同参画意識の醸成 2. 性の尊重に関する意識の啓発と教育 3. あらゆる暴力根絶のための意識の啓発と支援体制の強化 4. 情報発信における人権の尊重
	2. 多様な選択を可能にする 教育・学習の充実	1. 家庭における性別役割意識の見直し 2. 男女が仲良く尊重し合う幼児教育の充実 3. 生き方を考えキャリアを選択する力を育てる教育の推進 4. 男女がともに参加できる生涯学習機会の充実
	3. 生涯を通じた男女の健康 への理解	1. 生涯を通じた健康支援、健康づくり 2. 妊娠、出産等に関する健康支援 3. 健康をおびやかす問題についての対策の推進
2 責任を分かち合 い、個性や能力を 発揮できる家庭と 働く環境づくり	1. 男女の仕事と家庭生活と の両立（ワーク・ライフ・ バランス）支援	1. 家族全員で担う家庭生活の実現 2. 地域におけるワーク・ライフ・バランスの支援 3. 子育て支援制度の充実 4. 介護支援制度の充実
	2. 働く場における男女共同 参画の実現	1. 雇用労働条件等における男女平等の推進 2. 育児・介護休業制度の利用環境の整備 3. 職業生活と家庭生活との両立を支援するための働きかけ 4. 自営業における家族のパートナーシップの確立
	3. 意思決定過程への女性 参画の拡大	1. 行政における女性の登用の推進 2. 地域女性リーダーの育成 3. 事業者、団体等における女性の登用の促進
3 みんなで協力し、 心がかよひ合う 地域づくり	1. 自立して暮らせる生活 環境の整備	1. 高齢者が自立して暮らせる環境の整備 2. 障害者が自立して暮らせる環境の整備 3. ひとり親家庭の生活の自立支援 4. 自立を支える地域公共交通の充実
	2. 少子高齢社会を男女で 支え合う地域づくり	1. 地域で支える子育てネットワークの充実 2. 男女がともに地域活動に参加しやすい環境づくり 3. 一人ひとりがかけがえのない仲間として尊重される地域づくり
	3. 将来を担う子どもたちを 育てる住みよい地域社会 の実現	1. 地域における自主活動組織を育てる支援の強化 2. 子どもを地域の宝として育てる環境の整備 3. みんなが参加しやすい地域コミュニティづくりの推進

○基本目標1 互いに思いやり、認め合う人づくり

●施策の方向1. 人権尊重の意識づくり

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 家庭や地域、職場における男女共同参画意識の醸成	1	1	1.男女共同参画に関する情報や事業所における先進的取組事例の周知、提供【1-1】	県男女共同参画フォーラム、県男女共同参画チャレンジセミナー、県女性プラザ開講講座、日本女性会議、内閣府発行「共同参画」等のポスターやチラシ等を市役所ロビーや生涯学習センター等公共施設において掲示、配布した。
1. 家庭や地域、職場における男女共同参画意識の醸成	1	2	1.男女共同参画に関する情報や事業所における先進的取組事例の周知、提供【1-2】	H29.3をもって、推進員を廃止している。 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(法律第64号)」に基づき、常陸太田市における女性の職業生活における活躍の推進に関する取組を効果的かつ円滑に実施するため、関係機関により構成される協議会を設置の調査検討を進めていった。
2. 性の尊重に関する意識の啓発と教育	2		2.男女がお互いを思いやる道徳や人権教育の推進	全小中学校において、児童生徒の発達段階に応じた道徳の授業を行い、男女平等や思いやりなどの心の教育を重視している。 人権教育の視点から、「仲良くする」「友達」「男女の理解」という題材を扱った学級活動等の授業を実施している。
2. 性の尊重に関する意識の啓発と教育	3		3.思春期における父性や母性を育む学習の充実	思春期保健対策事業 市内小中学校等で行う思春期保健に関する授業等で利用する各教材の貸出しを行い、学習の場の充実を図った。 小学校:2校 中学校:2校 特別支援学校高等部:1校
2. 性の尊重に関する意識の啓発と教育	4		4.男女共同参画に関する教職員の校内研修の実施	職務配分等において、男女の意識を少なくしている(立場役割内内容等) 男女共同参画に関する研修会(県教委主催)に全小中学校とも参加し、意識の高揚を図っている。
3. あらゆる暴力根絶のための意識の啓発と支援体制の強化	5		5.ドメスティック・バイオレンス関連法や制度等関係各課との情報共有	「女性に対する暴力をなくす運動」等のチラシを関係各課に配布したり、ポスターを掲示するなどして、情報共有を図った。
3. あらゆる暴力根絶のための意識の啓発と支援体制の強化	6		6.関係機関連携によるドメスティック・バイオレンスの相談、緊急一時保護等総合的な対応	DV被害者等からの相談を受け、県福祉相談センター等との連携を図りながら、婦人児童相談所一時保護所等に関する情報提供及び被害者保護に関する相談援助を実施している。 平成30年度相談件数 2件 広報等による周知を実施した。
3. あらゆる暴力根絶のための意識の啓発と支援体制の強化	7	1	7.セクシャル・ハラスメント防止意識の啓発及び相談の支援【7-1】	茨城労働局雇用環境均等室の設置及び総合的なハラスメント相談窓口の周知に関する広報 広報資料配布、設置件数 1件 ①茨城労働局雇用環境均等室の設置及び総合的なハラスメント相談窓口の周知
3. あらゆる暴力根絶のための意識の啓発と支援体制の強化	7	2	7.セクシャル・ハラスメント防止意識の啓発及び相談の支援【7-2】	市民相談業務の一環として、セクシャル・ハラスメントの相談についても、各種関係機関と連携のうえ支援を行っていく。
4. 情報発信における人権の尊重	8		8.市が発信する情報における男女共同参画の視点に立った表現の配慮	市が情報を発信する媒体である広報紙お知らせ版、ホームページ等において、男女共同参画の視点に立ち、公平性に配慮した表現を用いる。

○基本目標1 互いに思いやり、認め合う人づくり

●施策の方向2. 多様な選択を可能にする教育・学習の充実

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 家庭における性別役割意識の見直し	9		9.男女共同参画啓発事業の実施	○男女共同参画推進セミナー テーマ:パパと一緒にキッチン 期日:2月23日(土) 会場:茨城キリスト教大学 講師:井川聡子氏 参加者数16名 テーマ:子育てトークカフェ 期日:2月23日(土) 会場:茨城キリスト教大学 講師:中島美那子氏 参加者数4名
2. 男女が仲良く尊重し合う幼児教育の充実	10	1	10.子どもの家庭内におけるお手伝いの促進【10-1】	生活科や家庭科などの学習で、家の中の仕事調べをした後、自分ができることを考えさせ、実践させている。特に小中学校教育においては、男女が性別による役割分担ではなく、人として生活していく上での必要な知識や技能という観点から指導している。 長期休業中などには、家庭におけるお手伝いや役割を意識させ、実践させている。
2. 男女が仲良く尊重し合う幼児教育の充実	10	2	10.子どもの家庭内におけるお手伝いの促進【10-2】	子供や保護者を対象に簡単な調理の実技指導や好ましい食習慣の確立のための教室を開催する。 「ほくとわたしのチャレンジcooking」開催回数14回 参加者数340名
2. 男女が仲良く尊重し合う幼児教育の充実	11		11.PTA活動等における保護者の男女共同参画意識の醸成	各小中学校PTA役員男女内訳:会長(男16女2)/副会長(男33女26) 各種研修会へ参加し、家庭教育、子どもを取り巻く環境、実践活動、資質の向上を図った。 市長教育長との懇談会や広報紙による情報提供を行い、保護者間での情報共有や活動への理解、参加への促進を図った。
3. 生き方を考えキャリアを選択する力を育てる教育の推進	12		12.教育の場における勤労意識や職業観についての平等意識の育成	各学校では学校教育全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた組織的系統的なキャリア教育を推進している。 各中学校では、中学生社会体験事業「TRIAL HANDBOOK」を活用して職業体験学習を2~3日実施。望ましい勤労意識や職業観の育成を図ると共に、地域社会や地域産業についての理解も深められた。
1. 家庭における性別役割意識の見直し 4. 男女がともに参加できる生涯学習機会の充実	13		13.地域における慣習やしきたりの見直し【2-3再掲】	「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(法律第64号)」に基づき、常陸太田市における女性の職業生活における活躍の推進に関する取組を効果的かつ円滑に実施するための検討を進めていった。
1. 家庭における性別役割意識の見直し 4. 男女がともに参加できる生涯学習機会の充実	14		14.男女共同参画関連図書コーナーの充実	男女共同参画関連図書コーナー及びカウンター前展示の実施
4. 男女がともに参加できる生涯学習機会の充実	15		15.公民館活動などにおける学習機会の充実(各種講座の開設など)	各地区公民館において、地域住民の学習ニーズや地域の特色を生かし、家庭教育学級、高齢者学級、趣味の教室、生活学級、女性教室等が実施されている。

○基本目標1 互いに思いやり、認め合う人づくり

●施策の方向3. 生涯を通じた男女の健康への理解

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 生涯を通じた健康支援、健康づくり	16		16.生活習慣病予防健康診査及び特定健康診査、特定保健指導の充実【16-1】	健診及び保健指導の実施 国民健康保険に加入する40歳から74歳の方を対象に、メタボリックシンドロームのリスクを発見し早期に予防・改善するため、特定健診及び特定保健指導を実施した。 ・特定健診 対象者:9,640人、受診者:4,248人、受診率:44.1% ・特定保健指導 ・動機付け支援 対象者:417人、利用者:275人、終了者:269人 ・積極的支援 対象者:146人、利用者:72人、終了者:56人 合計 対象者:5,633人、利用者:3,471人、終了者:3,251人(終了率57.7%)
1. 生涯を通じた健康支援、健康づくり	16		16.生活習慣病予防健康診査及び特定健康診査、特定保健指導の充実【16-2】	生活習慣病予防を目的に20～30代の若年者には生活習慣病予防健診を、40歳以上の方に特定健康診査を実施している。また、特定健康診査を受診した中でメタボリックシンドロームに該当する方については特定保健指導により改善を図っている。特定健診時には、預かり保育を実施し、子供連れの母親も健康診査を受診できるように対応した。未受診者を対象に追加健診を実施している。
2. 妊娠、出産等に関する健康支援	17		17.女性特有の病気への健康支援	女性特有の病気に対する支援として平成21年度から無料クーポン券事業を導入し、子宮頸がん、乳がん検診を実施。検診方法について、利便性に配慮し、集団あるいは個別に医療機関等を選択受診できるように実施。乳がんマンモグラフィ検査を実施できる医療機関が限られていることから集団健診日程を7日間増やしている。さらに、子宮頸がん集団検診及び乳がん集団検診において休日検診を設けている。 子宮頸がん予防ワクチン接種は平成25年度より制度改正となり、定期接種化され、任意予防接種費用助成は終了した。また、平成25年6月よりワクチンの副反応により積極的勧奨を差し控えている。
2. 妊娠、出産等に関する健康支援	18		18.母と子のための健診及び相談の充実	妊婦の方が安心して出産まで臨むことができるように医療機関等における妊婦の一般健康診査経費の助成事業を実施した。助成回数14回、助成金額合計97,950円/人。 助成事業を利用して健診を受けた妊婦数: 延べ 2,525人 更に、14回の妊婦健診後に出産に至らない妊婦への15回以降の受診券を発行し、出産までの妊婦健診費用、及び産後1か月の産婦健診生後1か月の乳児健診費用を助成した。 15回以降の妊婦健診費用助成を受けた妊婦の件数: 延べ44件、産後2週間健診を受けた産婦数: 149人、産後1か月の産婦健診を受けた産婦数: 207人、生後1か月の乳児健診を受けた乳児数: 149人
2. 妊娠、出産等に関する健康支援	19		19.両親学級の充実	妊婦及び夫に対する出産育児の知識普及と技術習得を目的に実施し、併せて育児における父母の共同意識の啓発を図る機会として活用している。また、夫婦参加の研修の際は、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)についても理解を深めてもらい、よりよい育児のための支援を実施している。 教室年間計画 3回を1コースとして4期開催 計12回(休日開催4回) 参加者数(延)104名 うち父母を対象とした開催回数は6回、参加者数(延)妊婦72名、夫32名、実母等1名
2. 妊娠、出産等に関する健康支援	20		20.新生児(乳児)訪問指導による母と子の健康支援	新生児乳児期はもっとも母親の育児不安が強まる時期であるため、母と子が健康に過ごし、安心して子育てが出来るよう保健師助産師による訪問指導を実施する。 また新しい家族が増え、父親等家族が協力しながら子育てや母親支援を行っていく必要があることから、家族への育児参加を促すための指導を行う。
3. 健康をおびやかす問題についての対策の推進	21	1	21.性感染症や薬物乱用の予防等に関する知識の啓発【21-1】	保健体育や学級活動の授業の一環として、性感染症予防や薬物乱用防止に関する講演会や授業を全小中学校で実施した。 特に中学校においては、外部講師を招いて薬物乱用防止教室を開催している。
3. 健康をおびやかす問題についての対策の推進	21	2	21.性感染症や薬物乱用の予防等に関する知識の啓発【21-2】	「ダメ、ゼッタイ。」普及運動やキャンペーンを行い、薬物乱用防止、薬物は「ダメ、ゼッタイ。」意識の浸透を図った。常陸大宮保健所管内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に薬物乱用防止指導員による薬物乱用防止講習会を開催された。 本事業を主体的に推進するのは、茨城県常陸大宮保健所となる。

○基本目標2 責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる家庭と働く環境づくり

●施策の方向1. 男女の仕事と家庭生活との両立(ワーク・ライフ・バランス)支援

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 家族全員で担う家庭生活の実現	22		22.男性の仕事と家庭の両立を支援する講座の実施	男性の家事育児参加の促進を目的としたセミナーを実施した。 テーマ:パパと一緒にクッキング 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:井川 聡子氏 参加者数:16名
1. 家族全員で担う家庭生活の実現	23	1	23.父親の子育て参加と男女共同参画意識の普及(父子健康手帳の配布)【23-1】	父親に対し、妊娠、出産育児の理解が深まるよう母子健康手帳発行時に併せて父子手帳を配布した。 父子手帳の配布数 215件 両親学級の開催による父親の子育て参画意識の醸成を図った。
1. 家族全員で担う家庭生活の実現	23	2	23.父親の子育て参加と男女共同参画意識の普及【23-2】	男性の家事育児参加の促進を目的としたセミナーを実施した。 テーマ:パパと一緒にクッキング 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:井川 聡子氏 参加者数:16名
2. 地域におけるワーク・ライフ・バランスの支援	24		24.地域ケアシステムを活用した総合的な生活の支援	独居の高齢者、障害者等について、民生委員より相談を受け、関係機関との連携・調整を図り、必要に応じて福祉サービス提供への支援、地域住民の協力を得た見守りのネットワークを構築してきた。 平成30年度相談件数 91件 平成30年度見守りネットワーク数 679件 (平成31年3月31日現在)
3. 子育て支援制度の充実	25		25.延長保育、一時保育等の特別保育の充実	低年齢児保育:公立4園(愛・金砂郷保育園・のぞみ・さとみこども園)、私立3園(はすみ・太田あすなろ・太田さくら保育園・家庭的保育園ほこ・あ・ほこ)で実施 延長保育:公立3園、私立2園において11時間超え保育を実施 障害児保育:全園において実施 一時預かり:公立4園(愛・木崎・すい・ふさとみこども園)、私立2園(はすみ保育園・太田さくら保育園)で実施

3. 子育て支援制度の充実	26	26.ファミリー・サポート・センター事業の充実【3-2再掲】	登録をした協力会員が、支援を必要とする利用会員に対し子どもの預かり等子育て支援を行う。 登録利用会員 135人 登録協力会員 40人 延利用回数 808回
3. 子育て支援制度の充実	27	27.地域子育て支援センターの充実【3-2再掲】	子育て支援センターの整備 公立はま金砂郷保育園のぞみさとみこども園、私立ははすみ保育園太田さくら保育園に設置し、園庭及びセンター室の開放、子育てに関する相談援助情報提供講習会等を実施している。 金砂郷保育園では、公共施設を利用した出前保育を実施している。 のぞみこども園は、H30.11新たに開設する。
3. 子育て支援制度の充実	28	28.放課後児童クラブの充実	小学校の空き教室等を利用し、放課後や長期休業中に保護者のいない家庭の小学校児童(1~3年生)を対象とし健全育成を行う。あわせて、共働きなど就労世帯の子育て支援を行う。 児童クラブの定員数 おおた100名/はたそめ60名/にしおざわ28名/さきく12名/さたけ70名/ほんだ36名/せや36名/かなさごう30名/ぐんど28名/くめ85名/すいふ25名/やまだ15名/さとみ40名 計565名(平成31年3月31日現在)
3. 子育て支援制度の充実	29	29.家庭児童相談	要保護児童対策地域協議会(常陸太田市子どもサポートネットワーク)の機能を活かし、関係機関と連携協議しながら取り組みを推進する。 家庭児童相談員による家庭児童相談援助をすすめる。 県福祉相談センターと連携し、地域児童相談事業に対応する。 相談通告受付件数 53件 家庭相談員 2人、社会福祉主事 3人 (平成31年3月31日現在)
4. 介護支援制度の充実	30	30.介護者や介護する家族へのサービスの充実	第7期常陸太田市高齢者福祉計画に基づき、介護者、介護する家庭への支援を行っている。H31.3.31現在 重度要介護高齢者おむつ購入費助成事業 延人数 679人 在宅重度要介護高齢者介護型年金支給事業 延人数 381人 在宅介護者リフレッシュ事業 実施回数 4回 延人数 60人 家族介護教室 実施回数 2回 延人数 25人 在宅介護支援センター 相談件数 5,300件
4. 介護支援制度の充実	31	31.介護サービスの充実及び周知	第7期介護保険事業計画に基づき、介護給付、予防給付、介護予防事業を行った。 H31.3.31現在 ○介護保険・介護予防給付費等 66,537件 5,373,123,730円 ○介護予防事業 ・日常生活支援総合事業(シニア健康塾) 144回 参加延人数 805人 ・介護予防口腔機能教育事業(一般高齢者) 50回 参加人数 509人 ・介護予防栄養改善教育事業(一般高齢者への講話) 42回 参加人数 426人 ・介護予防スクエアステップリーダー養成講座 全5回 12人 各団体への献立作成 82回 提供食数 3,718食 ・介護予防中運動教室 24回 参加延人数 272人 ・介護予防スクエアステップリーダー養成講座 全5回 12人 ・介護予防スクエアステップ教室 60回 参加延人数 587人

○基本目標2 責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる家庭と働く環境づくり

●施策の方向2.働く場における男女共同参画の実現

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1.雇用労働条件等における男女平等の推進	32		32.労働諸法の普及、啓発	茨城労働局等との連携によるワークライフバランス普及等に関する広報。 広報資料配布、設置件数 4件 ①年次有給休暇取得促進月間 ②プラスワン休暇取得促進(夏秋年末年始)
2.育児・介護休業制度の利用環境の整備	33		33.関係機関と連携した育児・介護休業法の広報啓発	茨城労働局雇用環境均等室の設置の周知に関する広報 広報資料配布、設置件数 1件 ①茨城労働局雇用環境均等室の設置の周知
1.雇用労働条件等における男女平等の推進	34		34.男女の就職、再就職の支援	茨城労働局との連携による地域職業相談室における就職支援 ①地域職業相談室周知広報 ②地域職業相談室就職支援状況(平成30年度) 相談件数 2,791件 紹介件数 1,353件 就職件数 424件 ③就職応援セミナーの開催(平成30年度) 出席者数 8人
1.雇用労働条件等における男女平等の推進	35		35.パートタイマー労働者等の雇用環境の整備	茨城労働局との連携による地域職業相談室における就職支援 ①地域職業相談室周知広報 ②地域職業相談室就職支援状況(平成30年度)【再掲】 相談件数 2,791件 紹介件数 1,353件 就職件数 424件
3.職業生活と家庭生活との両立を支援するための働きかけ	36		36.労働時間改善等職業生活と家庭生活等の両立の促進	茨城労働局との連携による労働時間見直し、有給休暇取得に関する広報。 広報資料配布、設置件数 4件 ①年次有給休暇取得促進月間 ②プラスワン休暇取得促進(夏秋年末年始)(再掲)
4.自営業における家族のパートナーシップの確立	37		37.家族経営協定の普及促進	常陸太田地域農業改良普及センターが推進する家族経営協定の締結促進に協力する。

○基本目標2 責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる家庭と働く環境づくり

●施策の方向3.意思決定過程への女性参画の拡大

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1.行政における女性の登用の推進	38	1	38.審議会等委員への女性の登用推進【38-1】	○審議会等における女性委員の登用状況(平成30年4月1日現在) 審議会19%(H29)→19%(H30:総委員数321人、うち女性委員数61人) 審議会等数15(うち女性委員のいる審議会等数14) 委員会14.2%(H29)→15.6%(H30:総委員数32人、女性委員数5人) 委員会数5(うち女性委員のいる委員会数3)
1.行政における女性の登用の推進	38	2	38.審議会等委員への女性の登用推進【38-2】	市民協働の成果を挙げるためのポイントの一つとして女性の視点が重要と考え、様々な機会を捉えて女性の参画を促がしてきたい。 市民提案型まちづくり事業審査委員会委員への女性登用の促進 — 審査委員会委員(市民)7人中3人が女性委員(約43%) 市交通指図書への女性登用の促進 — 平成31年3月31日現在12人中3人が女性交通指図書(約25%) 空家等対策協議会委員への女性登用の促進 — 審査委員会委員(市民)11人中1人が女性委員(約9%)

1. 行政における女性の登用の推進	39		39.市女性職員の人材育成、研修の充実	派遣研修について、引き続き女性職員の参加率の向上を図る。 (参考)平成29年度派遣研修参加者に占める女性職員の参加率:35.9% (51名(女性職員)/142名(派遣職員総数)×100)
1. 行政における女性の登用の推進	40	1	40.市女性職員の職種や職域の拡大と雇用の推進【40-1】	職員の実績、能力や評価を適正に評価し柔軟な人事管理を行う。 男女不問の職種や職域の拡大 男女不問の公正な管理職等への登用 (参考)平成29年度女性職員のうち係長以上の管理職等に占める割合(消防職等も含む全職種)13.0% 27名(係長以上の管理職等)/207名(女性職員総数)×100=13.0%
1. 行政における女性の登用の推進	40	2	40.市女性職員の職種や職域の拡大と雇用の推進【40-2】	平成30年度消防職員採用試験なし
2.地域女性リーダーの育成	41	1	41.女性防火クラブの育成、女性消防団員の活動支援【41-1】	婦人防火クラブに係る広報活動の実施 防火防災意識等の高揚を図ることを目的として、火災予防期間での広報(春季秋季2回実施) 防火意識の啓発活動及び自主防災組織の訓練に参加 茨城県幼年少年婦人防火大会への参加(常陸太田市で開催) 視察研修(福島県いわき市合同庁舎) 消防出初め式への参加 救急講習会、住宅用火災警報器の設置促進などの活動を実施する。
2.地域女性リーダーの育成	41	2	41.女性防火クラブの育成、女性消防団員の活動支援【41-2】	救急講習会の指導並びに幼児に対する防火防災思想の普及啓発活動に対する費用弁償の支給等を行った。 平成30年度に女性消防団員2名入団
2.地域女性リーダーの育成	42		42.地域における慣習やしきたりの見直し【1-2再掲】	H29.3をもって、推進員を廃止している。 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(法律第64号)」に基づき、常陸太田市内における女性の職業生活における活躍の推進に関する取組を効果的かつ円滑に実施するため検討を進めていった。
2.地域女性リーダーの育成	43		43.女性リーダー養成のための活動支援	県男女共同参画フォーラム、県男女共同参画チャレンジセミナー、日本女性会議など関係機関主催イベント等のポスター、チラシ、内閣府発行「共同参画」等を、市役所ロビー、生涯学習センター等公共施設に掲示、配布した。
3.事業者、団体等における女性の登用の促進	44	1	44.事業者、商工業、農林業等の各種団体の女性登用意識の普及啓発【44-1】	茨城労働局雇用環境均等室の設置の周知に関する広報 広報資料配布、設置件数 1件 ①茨城労働局雇用環境均等室の設置の周知
3.事業者、団体等における女性の登用の促進	44	2	44.事業者、商工業、農林業等の各種団体の女性登用意識の普及啓発【44-2】	常陸農業協同組合の理事47人中、女性理事5人。 女性理事は、部会等の代表として活躍している。 常陸農業協同組合の女性部会員数1270人、そのうち太田地区の女性部会員数158人は、組織部会(4部会)の中で、各種事業等に参加している。(太田地区:朝市、常陸太田秋そばフェスティバル2018等)
3.事業者、団体等における女性の登用の促進	44	3	44.事業者、商工業、農林業等の各種団体の女性登用意識の普及啓発【44-3】	平成28年度に改選があり、農業委員19名のうち女性委員が3名選任された。 (任期 平成29年4月1日～平成31年3月31日)

### ○基本目標3 みんなで協力し、心がかよひ合う地域づくり

#### ●施策の方向1. 自立して暮らせる生活環境の整備

基本的施策	NO	校番	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 高齢者が自立して暮らせる環境の整備	45		45.高齢者の健康支援	中高年から習慣的に運動をすることにより、「活動的な高齢者」を目標にシルバーリハビリ体操の普及をしている。「いきいき健康運動教室」は4地区6回または9回コースで全30回実施し、実88名(延285名)参加している。男女比は1:2で圧倒的に女性が多い。年代別に見ると60代2割、70代4割、80代3割である。平成26年度より運動・栄養に加え口腔の指導を入れ、内容を充実している。また、実施した4地区の教室は、自主グループとして発足し、市内では自主グループ数は88カ所(H31.3現在)になった。
1. 高齢者が自立して暮らせる環境の整備	46		46.高齢者の生きがい活動の充実	老人クラブスポーツ活動整備事業・・・平成26年度で事業廃止 高齢者生きがい活動支援事業・・・平成29年度で事業廃止
1. 高齢者が自立して暮らせる環境の整備	47		47.高齢者の社会参画のための支援	第7期常陸太田市高齢者福祉計画に基づき、高齢者の生きがい活動を行っている。 H31.3.31現在 老人クラブ活動 91クラブ シルバー人材センターとの連携就労の促進 補助金 9,980千円
2. 障害者が自立して暮らせる環境の整備	48		48.発達障害児相談	発達障害児または発達障害の疑いのある児童やその保護者に対し、総合的な相談に応じると共に、指導および訓練等の機会の提供、知能検査等を実施した。 開催回数:24回 相談件数:延べ93件
1. 高齢者が自立して暮らせる環境の整備 2. 障害者が自立して暮らせる環境の整備	49		49.高齢者や障害者等あらゆる方が利用しやすいバリアフリーの施設の整備促進	公園を安心安全に利用してもらえるように遊具の劣化診断を定期的の実施し、随時、遊具及び公園施設の修繕を実施した。 平成30年度公園遊具等修繕 《修繕遊具》 複合遊具3基 スイング遊具8基、滑り台1基、スプリング遊具7基 ジャンプルジム2基、鉄棒3基

3. ひとり親家庭の生活の自立支援	50	50.ひとり親家庭への医療費一部支給	ひとり親家庭(母子家庭の母子及び父子家庭の父子)への医療費の一部を助成する。 受給者数 父子80人 母子563人 支給額 父子 1,865,201円 母子16,723,559円
3. ひとり親家庭の生活の自立支援	51	51.ひとり親家庭への総合的な支援	児童扶養手当(延4,662件)遺児手当(延366件)等の支給。 小学校新入学児童の入学祝金の支給。35人 就労促進に向けた講習会の案内や母子専福福祉会主催事業の周知。 就職に有利な資格取得のためひとり親高等職業訓練促進給付金支給。 高等職業訓練促進給付金:月額70,500円(市民税非課税世帯100,000円)、上限2年、1人 高等職業訓練終了支援給付金:25,000円(市民税非課税世帯50,000円)、2人
4. 自立を支える地域公共交通の充実	52	52.地域公共交通の整備	民間路線バスの維持確保 市民バスの運行 集合タクシーの運行 公共交通空白地有償運送事業補助 高校生通学定期券購入助成(H30年度 助成人数:30人、43件) 高齢者バス利用促進助成(H30年度 助成額:バス運賃の1/2、延べ利用者数:3,200人) 運転免許証自主返納支援(H30年度 申請人数:328人(新規 184人、更新 144人)) 市域公共交通活性化協議会市内公共交通の協議及び施策事業の実施に係る連絡調整

### ○基本目標3 みんなで協力し、心がかよい合う地域づくり

#### ●施策の方向2. 少子高齢社会を男女で支え合う地域づくり

基本的施策	NO	核	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 地域で支える子育てネットワークの充実	53		53.地域子育て支援センターの充実【2-1再掲】	子育て支援センターの整備 公立は愛宕幼稚園のぞみさとこども園、私立ははすみ保育園太田さくら保育園に設置し、園庭及びセンター室の開放、子育てに関する相談援助情報提供講習会等を実施している。 金谷幼稚園では、公共施設を利用した出前保育を実施している。 のぞみこども園は、H30.11に新たに開設する。
1. 地域で支える子育てネットワークの充実	54		54.ファミリー・サポート・センター事業の充実【2-1再掲】	登録をした協会員が、支援を必要とする利用会員に対し子どもの預かり等子育て支援を行う。 登録利用会員 135人 登録協会員 40人 延利用回数 808回
1. 地域で支える子育てネットワークの充実	55		55.子育て広場等地域の新たな子育て支援拠点づくりの推進	子育て広場を開設し、交流及び集いの場を提供したり、子育てに関する相談を受けている。 月2回実施 10:00~12:00 交流センターふじ 母親等 延29人 子ども 延36人 水府保健センター 母親等 延85人 子ども 延111人 里美保健センター 母親等 延11人 子ども 延16人 じょうづるはうす 母親等 延66人 子ども 延74人
2. 男女がともに地域活動に参加しやすい環境づくり	56		56.地域活動の参加を促す講座の実施	○男女共同参画推進セミナー テーマ:パパと一緒にクッキング 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:井川 聡子氏 参加者数:16名 テーマ:子育てトークカフェ 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:中島美那子氏 参加者数4名
3. 一人ひとりがかけがえのない仲間として尊重される地域づくり	57		57.子育て支援団体や高齢者見守り活動を実践するロールモデル(※)情報の収集及び提供	市内のまちづくり活動や子育て支援に関わるグループ及び個人をつなぎ、ネットワークを構築するために「子育てメッセ」を開催した。 【春の子育てメッセ】 開催日:平成30年6月3日(日) 場所:総合福祉会館 来場者数:3,000人 【秋の子育てメッセ】 開催日:平成30年10月21日(日)場所:生涯学習センター 有識者によるクロストークと交流会 来場者数:40人

### ○基本目標3 みんなで協力し、心がかよい合う地域づくり

#### ●施策の方向3. 将来を担う子どもたちを育てる住みよい地域社会の実現

基本的施策	NO	核	具体的施策	H30年度事業の実施状況等
1. 地域における自主活動組織を育てる支援の強化	58		58.NPOや市民組織間の横の連携、協働及び育成支援	女性団体の活動力がまちづくりのパロメーターでもあり、積極的に支援していく必要がある。 1.NPOなどのボランティア団体等で活躍する女性活動団体の支援 ・結(市内に点在するまちづくり活動や子育て支援に係わるグループ、個人のネットワーク作り) ・たんたん(障がい児の日常生活及び社会生活の総合的な支援) ・おたねネットワーク(チャレンジいばらき県民運動の趣旨に沿った事業展開を実施し行政ははじめて観光施設や各種活動団体等と連携した、本市の魅力の発信や啓発活動の実施) ・布遊(つるし雛飾りを通してまちづくり団体との連携) ・県立水田第二高等学校(市民提案型まちづくり事業により、インスタグラムを活用した市のPRの実施) 2.市民提案型まちづくり事業補助による各種ボランティア団体等の活動支援を行う。
1. 地域における自主活動組織を育てる支援の強化	59		59.市民活動ネットの活用による、地域における自主活動の支援	市民活動ネット(市民協働推進課主管)により、より多くの方に関心をもってもらえるよう、ボランティア情報や市民活動団体の活動状況を広く周知し、担い手の裾野の拡大を図る。 ブログ掲載33件 広報紙お知らせ版33件 ネット関係(ホームページ・フェイスブック)111件
2. 子どもを地域の宝として育てる環境の整備	60		60.地域における子どもの見守り活動の充実	子どもたちの安全確保のため、「子どもを守る110番の家」と地域子ども安全ボランティアとの連携により、地域ぐるみでの防犯活動を実施している。
2. 子どもを地域の宝として育てる環境の整備	61	1	61.子どもを連れて安心して外出することができる環境の整備【61-1】	自主企画事業共催事業の際に、託児サービスを実施している。 平成30年度自主事業及び共催事業を合計9事業開催し、すべての事業で託児サービスを提供した利用実績は6事業10件14名であった。
3. みんなが参加しやすい地域コミュニティづくりの促進	62		62.男女共同参画の視点をもった地域課題解決の推進	○男女共同参画推進セミナー テーマ:パパと一緒にクッキング 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:井川 聡子氏 参加者数:16名 テーマ:子育てトークカフェ 期 日:2月23日(土) 会 場:茨城キリスト教大学 講 師:中島美那子氏 参加者数4名

## ひたちおた幹プラン 計画の指標の進捗状況(H30年度実績値)

### 基本目標1 互いに思いやり、認め合う人づくり

項目(指標名)	計画策定時		H30年度実績値	R2年度目標値
	年度	現状値		
社会全体における男女の平等感	H21	13.7%	—	50.0%
社会通年、慣習、しきたり等における男女の平等感	H21	15.2%	—	50.0%
「男は仕事、女は家庭」という考えを疑問視する人の割合	H21	65.3%	—	75.0%
児童、生徒の家事参加割合	—	—	35.5%	50.0%
異性に男女の健康上の違いを理解してもらっていると感じている人の割合	H21	44.7%	—	75.0%
子宮がん検診年間受診者数	H22	1,523人	1,690人	1,910人
乳がん検診の年間受診者数	H22	1,675人	2,847人	2,400人

### 基本目標2 責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる家庭と働く環境づくり

項目(指標名)	計画策定時		H30年度実績値	R2年度目標値
	年度	現状値		
家庭生活における男女の平等感	H21	15.6%	—	50.0%
一時保育(ファミリー・サポート・センター)事業の利用会員数	H22	46人	135人	100人
家族経営協定の締結者数	H22	91人	117人	110人
審議会、委員会等における女性の割合	H22	13.7%	20.4%	30.0%

### 基本目標3 みんなで協力し、心がかよひ合う地域づくり

項目(指標名)	計画策定時		H30年度実績値	R2年度目標値
	年度	現状値		
地域活動における男女の平等感	H21	37.6%	—	50.0%
シルバー人材センターの登録会員数	H22	437人	328人	550人
地域活動をしている人の割合	H21	30.6%	—	50.0%
今後、地域活動をしたいが、現在は準備をしていない人の割合	H21	41.4%	—	30.0%
子育て広場の年間開設日数	H22	25日	58日	72日

\*=「常陸太田市男女共同参画社会市民意識調査」より【平成22年3月調査】

\*=「常陸太田市男女共同参画社会市民意識調査」(平成22年6月)より【平成22年3月調査】